

## 第1回

# 宮城発 これからの福祉を 考える全国セミナー

介護保険制度改正を受けてスタートした「新しい総合事業」と「生活支援体制整備事業」は、全国一律ではなく、自治体が内容を決め地域住民とともに育てる事業です。そのため、自治体や住民の中には、高齢者を含む住民同士の支え合いや地域づくりを進める体制づくりにとまどいを感じているところも少なくありません。

少子高齢化、人口減少のなか、地域住民がこの制度を活用し住み良いまちを作るため、また多様な主体が参画する「地域づくり」や「支え合い体制づくり」を推進するため、表記セミナーを開催します。

日 時：平成29年2月2日（木） 10：30～17：30

会 場：仙台市福祉プラザ 2階 ふれあいホール（定員 300人）

対 象：自治体関係者、社会福祉協議会、民生委員児童委員、  
生協、農協、商工業者、NPO、各種ボランティア、  
自治会・町内会などの地域組織のリーダー、  
地域包括支援センター職員、生活支援コーディネーター、  
被災者支援従事者、関心のある方

主 催：宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議

宮城県、仙台市、（社福）宮城県社会福祉協議会、（社福）仙台市社会福祉協議会、（社福）七ヶ浜町社会福祉協議会、東北福祉大学、  
仙台白百合女子大学、特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター、仙台市地域包括支援センター連絡協議会、  
宮城県サポートセンター支援事務所、公益財団さわやか福祉財団、特定非営利活動法人 移動サービスネットワークみやぎ、食事サー  
ビスネットワーク・みやぎ、宮城県民生委員児童委員協議会、仙台市民生委員児童委員協議会、公益財団法人 宮城県老人クラブ連  
合会、公益社団法人 仙台市老人クラブ連合会、仙台弁護士会、特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター、特定非営利  
活動法人 宮城県ケアマネジャー協会、一般社団法人 宮城県社会福祉士会、宮城県商工会議所連合会、宮城県商工会連合会、公益  
社団法人 宮城県シルバー人材センター連合会、宮城県生活協同組合連合会、宮城県農業協同組合中央会（JA宮城中央会）、特定非  
営利活動法人 杜の伝言板ゆるる、特定非営利活動法人 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会



# 新しい地域支援事業がめざすもの サービスの受け手から暮らしと

## 今、なぜ宮城発のセミナーなのか

時間	内容
10:30～10:50	<b>【開会】主催者あいさつ</b> 宮城県保健福祉部 次長 千葉 隆政 宮城県社会福祉協議会 事務局長 佐藤 光敏 <b>【基調報告】</b> 「地域支え合いを推進するための重層的な市町村支援について」 宮城県保健福祉部長寿社会政策課 課長 成田 美子

## 第1部 被災者支援従事者実践からの気づき

時間	内容
10:50～12:20 (90分)	<b>【活動発表とディスカッション】</b> <b>被災地での支援から考える</b> <b>～被災当事者であり住民でもあるサポーターによる、地域での支え合い～</b> ◇発表者 宮城県 石巻市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター 小松 沙織 氏 福島県二本松市 建設技術学院跡地応急仮設住宅自治会 鎌田 優 氏 宮城県 南三陸町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 芳賀 裕子 氏 ◇コメンテーター 宮城県サポートセンター支援事務所 所長 鈴木 守幸 氏 ◇コーディネーター 東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授 高橋 誠一 氏
12:20～	休憩 (45分)

## 第2部 生活支援コーディネーターを支援する市町村等の取り組み

時間	内容
13:05～15:05 (120分)	<b>【シンポジウム】</b> <b>やっぱり「地域づくり」</b> <b>～「あるもの探し」から、それらを活かす施策を推進～</b> ◇シンポジスト 宮城県多賀城市 保健福祉部介護福祉課介護予防係 主幹兼係長 高橋 洋之 氏 宮城県仙台市青葉区 小松島地域包括支援センター 社会福祉士 岩井 直子 氏 (生活支援コーディネーター) 岩手県北上市 保健福祉部長寿介護課包括支援係 主任 高橋 直子 氏 東京都武蔵野市健康福祉部高齢者支援課相談支援係 武蔵野市地域包括支援センター 主任 横山 美江 氏 (生活支援コーディネーター) ◇コメンテーター NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 氏 ◇コーディネーター 仙台白百合女子大学 人間学部 准教授 志水 田鶴子 氏
15:05～	休憩 (15分)



# は、高齢者自身を含めた住民が、 地域をつくる主体となること。

## 第3部 地域支援事業を支援する県等の取り組み

時間	内容
15:20～17:15 (115分)	<p>【シンポジウム】</p> <p>宮城発 これからの福祉を考える ～新しい地域支援事業の姿～</p> <p>◇サポーター</p> <p>三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング株式会社 社会政策部 上席主任研究員 岩名 礼介 氏</p> <p>◇シンポジスト</p> <p>厚生労働省 東北厚生局 健康福祉部 地域包括ケア推進課 課長 内山 徹 氏</p> <p>宮城県保健福祉部 長寿社会政策課 介護保険推進班 班長 阿部 博敬 氏</p> <p>仙台市健康福祉局 保険高齢部高齢企画課 包括支援係 係長 星 努 氏</p> <p>宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議 事務局長 西塚 国彦 氏 (宮城県社会福祉協議会 地域福祉部)</p> <p>NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 調査研究情報グループ グループ長 田所 英賢 氏</p> <p>◇コーディネーター</p> <p>宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議 運営委員会委員長 大坂 純 氏 (仙台白百合女子大学 人間学部 教授)</p>

## クロージング・まとめ

17:15～17:30 (15分)

宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議

運営委員会委員長 大坂 純 氏



## メッセージ

介護保険制度改正における新しい地域支援事業がめざすものは、高齢者自身を含めた住民が、サービスの受け手から暮らしと地域をつくる主体となることです。そして、行政に求められるものは、福祉サービスの提供体制だけではなく、住民同士の助け合いと地域づくりをすすめる体制づくりです。誰もが生き生きと地域で暮らしていけるように、これからの地域づくりをいっしょに考える契機になれば幸いです。

宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議 運営委員会委員長 大坂 純

## 【参加申込書】

### ■記入にあたって

- ・必要事項をご記入の上、平成29年1月20日（金）までに、FAXまたはEメールにてお申込み下さい（当日必着）。会場の都合により、定員（300人）になり次第締め切らせて頂きます。
- ・個人で申し込まれる場合は団体名は不要です。その場合でも参加者一覧はご記入ください。
- ・参加者欄が足りない場合は、参加申込書をコピーの上ご使用ください。
- ・昼食をご希望される方は、昼食希望欄に○をご記入ください（800円、お弁当・お茶付）。
- ・質問、団体PR等がございましたら、下記記入欄へご記入ください。

### ■申し込み先

- ・宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議事務局 [担当 村上・荒井]  
（宮城県社会福祉協議会 地域福祉部）
- ・連絡先 電話（022）266－2621 ／FAX（022）266－3953
- ・Eメール g010@miyagi-sfk.net（村上）

**FAX（022）266 - 3953**

申込日 年 月 日

団体名	都・道・府・県
団体責任者	電話 FAX
メールアドレス	
所在地（個人の場合は自宅） 〒	

### 【参加者一覧】

No.	参加者氏名	役職	昼食希望
1	フリガナ 氏名		
2			
3			
4			
5			

### 【質問記入欄、団体PR記入欄】

--